

アカデミック・スキル2 伝達

国際社会に通じるコミュニケーション・スキルを身に付けよう

担当：岡田 彩（オカダ アヤ）

Welcome to the world of international communication!

「来週月曜日、アメリカから来る先生に、この間のレポートの内容をプレゼンしてほしい」
そんなリクエストを受けたら、皆さんはすぐに対応できる自信がありますか？

一番の問題は、語学力ではありません。どんなに外国語を堪能に話せたとしても、国際社会で真に戦える人材となれるわけではありません。またネイティブと同じように外国語を話せたとしても、内容に説得力がなければ、有意義なプレゼンテーションはできません。鍵となるのは、どのような順番でどのような情報を提示して主張を展開するか、どのような姿勢で対話するかなど、様々な要素が組み合わさって、初めて効果的なコミュニケーションが可能となります。

この授業では、以下三点を通じて、国際社会に対応できる議論の組み立て方、主張の見せ方を学びます。

第一に、Stephen E. Toulmin の argumentation model から「議論の組み立て方」を学びます。相手に説得力を持って伝える「議論」に求められる様々な要素を学びます

第二に、政策トピックスをポリシー・メモにまとめます。ポリシー・メモとは、ある政策の概要、背景、論争点、主張を簡潔にまとめた短い文書です。Brookings Institution や NGO による Policy Brief などの事例を元に、主張や議論を簡潔かつ分かりやすくまとめるコツを学びます。ここで養われる論理的構成力は、レポートや論文をはじめ、様々な仕事で求められる文章、プレゼンテーションに応用できる優れものです。

第三に、ポリシー・メモにまとめた内容を、英語でプレゼンテーションします。オーディエンスの前に立って原稿を読むだけのプレゼンテーションではなく、パワーポイントなどのツールを効果的に使い、相手に主張が明確に伝わるプレゼンテーションを目指します。

• 講義の目標

国際社会に通じるコミュニケーション・スキルとは何かを理解し、実践に移すことができる。

- 各回の内容（全 15 回）

	内容
1	効果的なコミュニケーションとは
2	プレゼンテーション：Presenting yourself and your interest
3	議論の組み立て方：Toulmin の argumentation model①
4	議論の組み立て方：Toulmin の argumentation model②
5	議論の組み立て方：Toulmin の argumentation model③
6	ポリシー・メモとは？
7	英語でポリシー・メモを書くとは？
8	ポリシー・メモを書く際の注意事項
9	歴史に残るプレゼンテーション
10	様々なツールを使ったプレゼンテーション
11	様々なオーディエンスに対応する
12	ポリシー・メモの添削
13	プレゼンテーション①
14	プレゼンテーション②
15	プレゼンテーション③

- 課題

各自関心のある政策トピックスに関連する主張を選び、英語でのポリシーメモ（A4・4枚）とパワーポイントを用いたプレゼンテーション（10分）で発表します。

- 成績評価基準

以下 4 つの項目を、100 点満点で換算します。

授業への出席	20%	3 回欠席で 5 点減点 * 正当な理由がある場合には、講義当日午後 12 時までメールにて連絡すること
授業内エクササイズへの参加	20%	議論への積極的な参加
ポリシー・メモ	30%	論理的一貫性・オリジナリティ
プレゼンテーション	30%	説得力・分かりやすさ

- テキスト

Toulmin, Stephen. (1984). *An Introduction to Reasoning Second Edition*. (Macmillan, 1984). 該当部分を授業内で配布する。